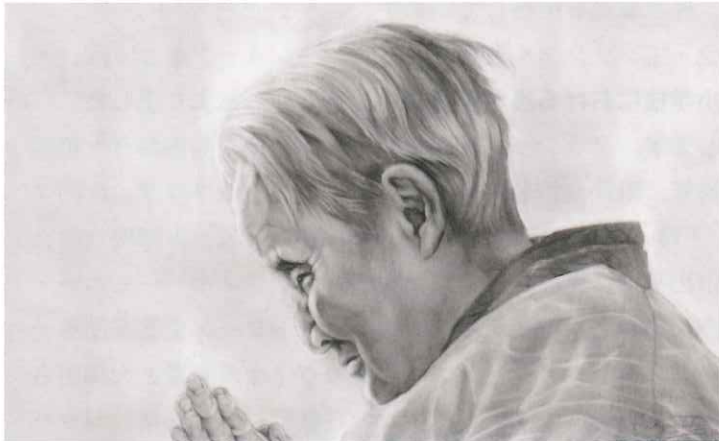


『 木下 晋 展 - 祈りの心 - 』

会期 7月21日(土)～8月26日(日)

砺波市美術館学芸員 杉本 積



「小林ハルの祈り」2009年  
34.0×54.0cm 鉛筆・ケント紙

私が木下さんを初めて知ったのは、2000年に石川県で開催された二人展を見に行った時からです。この時は挨拶を交わした程度で、特に交流が始まったわけではありませんでした。2009年になると、木下さんが金沢美術工芸大学大学院の教授に就任され、北陸でも作品発表を積極的に行うようになりました。そんな時に、木下さんと旧知の間柄であった小西竹文前館長が平塚市美術館で個展を行うことを聞きつけ、当館で木下晋展の企画の検討が始まりました。相談の結果足利市立美術館を加えて3館の巡回企画展となり、本格的な準備は2011年から開始し、調査・作品選定など終えて2012年の冬から図録制作

に取りかかりました。各館で寄稿や編集を分担し、私は対談の編集と文献目録の一部調査を担当しました。対談の編集は滞りなく進みましたが、文献目録の方は、木下さんの記憶が曖昧な部分もあり、過去の新聞記事なども追跡調査してなんとか締め切りに間に合わせ、4月に平塚市美術館で展覧会がスタートしました。暗くなりがちなテーマを持った作品ではありますが、非常に見やすく端正な展覧会でした。砺波市美術館での展覧会は、木下さん自身も地元富山での開催ということもあり、熱心にアドバイスをくださり、それを参考にしながら当館も負けられないよう準備を進めています。

『美と出合う喜び 中條誠子さん講演会』

砺波市美術館学芸員 末永忠宏

「日曜美術館」「ダーウィンが来た！生き物新伝説」でおなじみの、NHKアナウンサー中條誠子さんの講演会が、5月13日 当館2階市民ギャラリーで行われました。

昨年暮れに小野田館長と正式な依頼に局に伺った折には「日曜美術館のこぼれ話的な内容を」とのトークショウを希望しました。

それから開催が近づいてきた4月のある日、中條さんから3部構成にしたいとの申し入れが。

その概要は

- 1) 芸術を通して、時代や人間について考えさせられることを、ゴッホの例を採り上げて紹介。
- 2) 梅原龍三郎の出品作品を交え、中條さんと筆者のクロストーク。
- 3) お客様の質問をなんでも受けつける(たまに私)。



というものでした。方向性が定まるや、中條さんにはVTRの用立てや講演原稿の作成、はては多忙なスケジュールの合間をぬって梅原展をご覧頂いたのでした。綿密なりサーチと本番の勝負強さはプロのそれでした。客席の質問に右に左に駆け回り、時にユーモアを交えて話される中條さんに、客席は大盛り上がり。この日は当館が「日曜美術館」だったのでは？ と感じ入ったものでした。

## 『砺波市文化会館事業のご案内』

砺波市文化会館 西 一彦

14年ぶりに砺波市文化会館へ戻りました。文化会館では、自主事業を担当しています。

砺波東部小学校と南部小学校で1年を通じてオーケストラ・アンサンブル金沢によるワークショップを24回、ミニコンサート各1回、ホールコンサート1回を開催する「小学校における通年音楽プログラム」も始まりました。

7月24日(火)には「クラシック音楽の宝石箱」を開催します。クラシック音楽を気軽に楽しんでもらおうと毎年開催されてきたコンサートです。射水市民病院、砺波市美術館、県民会館分館金岡邸、滑川市民交流プラザ、大門コミュニティセンターの5会場での開催となります。出演は山下洋一(VI)、広田泉(VI)、石黒靖典(VIa)、大澤明(Vc)、ナビゲーターは廣川奈美子さんです。山下洋一さんは富山市出身で、現在、ドイツマグデブルグフィルハーモニー・オーケストラの第1コンサートマスター。広田泉さんは高岡市出身で、現在テキサス州フォートワース交響楽団第一ヴァイオリン奏者。石黒靖典さんは金沢市出身で、現在オーケストラ・アンサンブル金沢のヴィオラ奏者。大澤明さんは富山市出身で、現在オーケストラ・アンサンブル金沢のチェロ奏者です。ハイドンの「皇帝」第2楽章、バッハの無伴奏チェロ組曲よりサラバンド、モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラの為の二重奏曲より主題と変奏など、なじみ深い曲が演奏されます。18:30より砺波市美術館 1Fエントランスホールで開催します。入場は無料です。

劇団四季ミュージカル「王様の耳はロバの耳」のチケットも発売中です。

「王様の耳はロバの耳」という話をご存知でしょうか？ロバの耳を持つ王様が、散髪の際に理髪師にばれてしまい、口止めをするのですが、話が国中に広まってしまうというストーリーになっています。8月4日(土)午後5時開演です。

9月には「由紀さおり・安田祥子“Songs With Your Life Concert”ファイナルツアー～ありがとう25年～」を開催します。由紀さおりさんは、1969年「夜明けのスカット」でデビュー。当時、150万枚のミリオンセラーとなりNHK紅白歌合戦にも初出場を果たしました。姉 安田祥子さんとのコンサートは、1986年から 童謡コンサートとしてスタートし、25年続いたこのコンサートも今回で終了となります。砺波市文化会館がファイナルコンサートの本当の最終公演となります。

また、昨年10月に発売された、由紀さおり&ピンク・マルティーニによる『1969』が海外で大ブレイクしています。透きとおる歌声をお楽しみください。公演日は9月29日(土)午後6時開演となります。チケットはホールメイト・友の会の会員は7/7(土)から先行発売します。一般発売は7/21(土)からです。よろしくお願ひします。



### —編集後記—



6月10日、美術館前に地域の子どもたちが歌う、夜高祭りの元気な歌が流れました。最近、現代生活にあわせて、週末に祭りをを行う事が珍しくありませんが、高道地区は昔通り10日に家々を回っています。子どもが少なくなつて、たくさんの家を回るのは大変なようですが、これからも引き継いでいけるよう、見守っていきたいですね。(M)